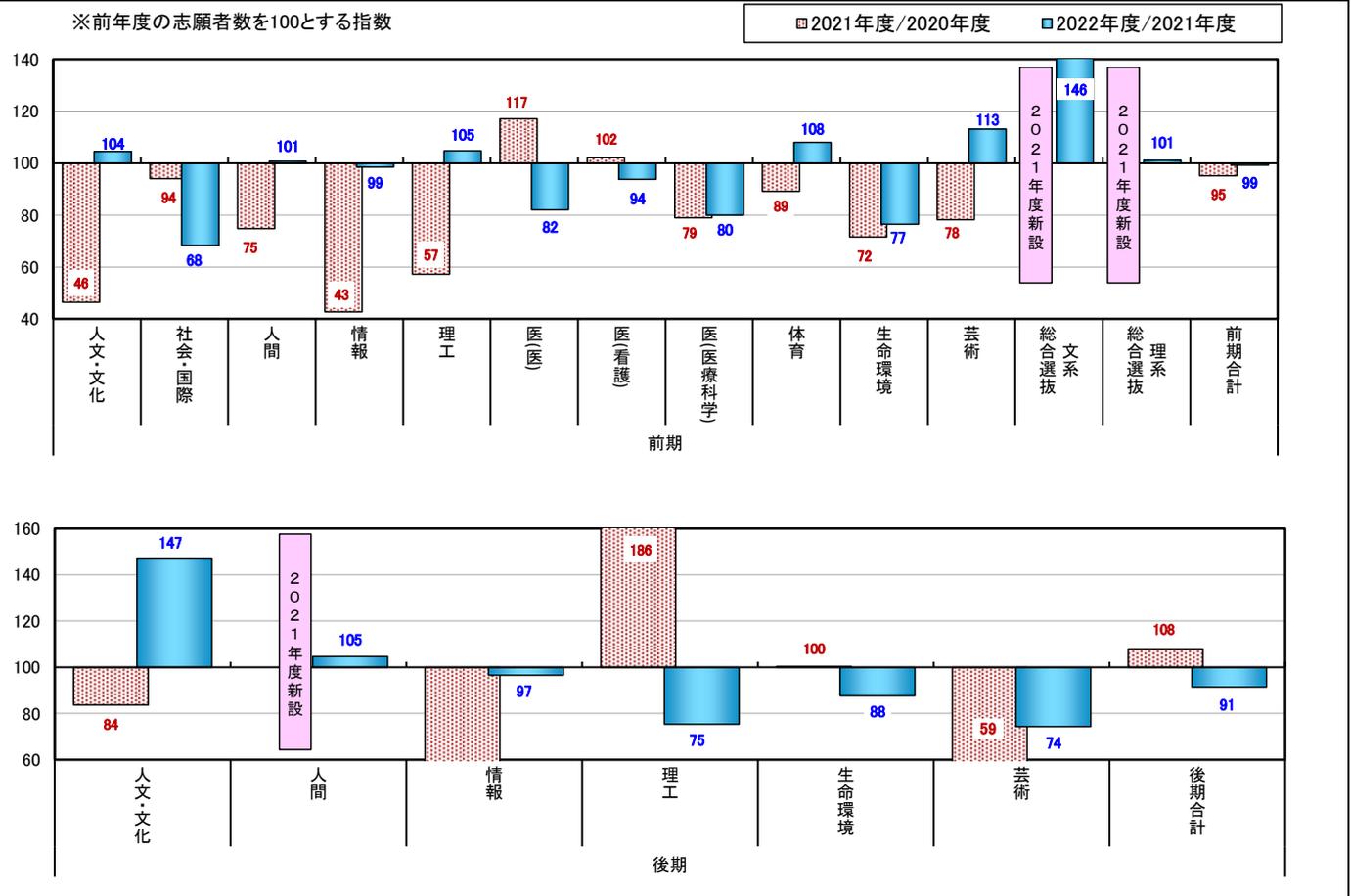


筑波大：前期は前年度並、後期は前年度の反動で減少 前期：-33人 後期：-131人



主な入試変更点 ※コロナ禍対策のため、一般選抜個別試験での調査書を用いた主体性等評価(調査書点数化)を見送り、調査書配点を除いた総点で選抜。
 出願資格：医(医)<地域枠>(茨城県内対象)保護者が茨城県内に1年以上居住している者
 →<地域枠>(茨城県内対象)保護者が茨城県内に3年以上居住している者
 第1段階選抜基準変更：芸術<後>…約6倍(通過予定人数：約30人)→約10倍(通過予定人数：約50人)

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数
 大学全体では、前期は33人(99)の微減で3年連続減少、ただし減少率は毎年縮小。後期は、前年度増加の反動で131人(91)の減少、2018年度以降は前年度の反動による増減が継続。学群(医は学類)・選抜別では、前期は、総合選抜(文系)(146)は大幅増加。一方で、社会・国際(68)、生命環境(77)、医(医療科学)(80)、医(医)(82)が大幅減少。後期は、人文・文化(147)が大幅増加。一方で、芸術(74)、理工(75)が大幅減少。

- <前期日程>
- 人文・文化(104)は、やや増加に留まり、前年度半減以下だった反動は小さかった。
 - 社会・国際(68)は、大幅減少で3年連続減少。学類別では、(社会)(54)は、大幅減少で2017年度以降は前年度の反動による増減が継続。国際総合(109)は増加だが、2年連続減少の反動は小さかった。
 - 人間(101)は、前年度並で前年度大幅減少の反動は小さかった。学類別では、(障害科学)(245)は前年度60%を超える激減の反動で激増。一方で、教育(80)、心理(81)はいずれも大幅減少。
 - 情報(99)は、微減で4年連続減少。前年度半減以下だった反動はなかった。学類別でも(情報メディア創成)(97)は4年連続減少、(情報科学)(99)は3年連続減少。
 - 理工(105)は、前年度大幅減少の反動はなく、やや増加に留まった。学類別では、6学類のうち、(数学)(51)のみが半減近い大幅減少で、(応用理工)(120)は大幅増加、(物理)(111)、(社会工)(110)、(工学システム)(108)は増加。(化学)(100)は前年度並。
 - 医(医)(82)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。志願者数は2013年度の後期廃止以来最少。
 - 医(看護)(94)は、やや減少で2016年度以降前年度の反動による増減が継続。志願者数は3年連続100人を下回った。
 - 医(医療科学)(80)は、2年連続大幅減少で志願者数は40人を下回った。志願倍率も3.0倍→2.4倍にダウン。
 - 体育(108)は、系統への人気回復もあり3年ぶりに増加。
 - 生命環境(77)は、2年連続大幅減少。募集人員(前年度募集人員対比指数103)の増加もあり、志願倍率は3.0倍→2.2倍にダウン。学類別では、募集人員が約20%増加の(生物)(147)のみが大幅増加で志願倍率も2.3倍→2.8倍にアップだが、(生物資源)(66)、(地球)(68)はいずれも大幅減少で、特に(生物資源)は6年連続減少。
 - 芸術(113)は、増加で3年ぶりに増加。志願倍率は2.4倍→2.8倍にアップ。
 - 実施2年目の総合選抜文系(146)は、周知が進んだこともあり大幅増加。志願倍率は2.3倍→3.3倍にアップ。

○実施2年目の総合選抜理系(101)は、前年度並。募集単位別では、数学重視の(理系 III)(115)は大幅増加。一方で、均等配点の(理系 II)(78)は大幅減少。物理必須の(理系 I)(102)は前年度並と増減が分かれた。

<後期日程>

- 人文・文化(147)は、大幅増加で3年ぶりに増加。志願倍率は11.8倍→17.3倍にアップ。
- 後期募集2年目の人間(105)は、やや増加。学類別では、(障害科学)(177)は激増で、志願倍率は4.3倍→7.7倍にアップ。
- 情報(97)は、前年度から(知識・図書館)(97)のみの募集となり、前年度70%を超える激減に続いてやや減少。志願者数は3年連続100人を下回った。
- 理工(75)は、前年度から(物理)(化学)の後期募集が始まったことで大幅増加したが反動で大幅減少。後期募集を継続していた3学科合計でも大幅減少で、共通テスト難化の影響が見られた。学類別でも、全ての学類で減少し、(応用理工)(57)、(化学)(62)、(物理)(78)、(工学システム)(83)は大幅減少、(社会工)(86)は減少。
- 生命環境(88)は、減少。志願倍率は6.6倍→5.8倍にダウン。学類別では、(生物)(69)は前年度大幅増加の反動で大幅減少、(地球)(85)は2年連続大幅減少。一方で、(生物資源)(108)は、前年度減少の反動で増加。
- 芸術(74)は、2年連続大幅減少で3年連続減少。第1段階選抜基準を緩和したが、前年度志願倍率が13.3倍→23.4倍に大幅アップしたことから敬遠され、志願倍率は23.4倍→17.4倍にダウン。なお、第1段階選抜合格者数は55人で、ほぼ予告通り実施された。